

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020年 10月 29日作成 第1版

研究課題名	男性不妊症とヒト精子の電子伝達系タンパク質との発現相関の解析
研究の対象	2009年4月1日から2017年5月1日までに横浜市立大学附属市民総合医療センターにおいて採取され、診療後残余検体が保管可能な精液（精子凍結や人工授精・体外受精・顕微授精で使用した精液は除外されています）
研究目的 ・方法	目的：精子形成後期に特異的に発現するミトコンドリア電子伝達系タンパクで、この機能研究を通して精子の高い酸化ストレスを分子病理学的に説明できると期待される。本研究では、ヒト Coxfa413 タンパク質をはじめとする精子電子伝達系のタンパク質発現動態と男性不妊症との相関を明らかにすることを目的にしています。 方法：凍結保存してある精液を融解し、精子のみ分離したのち精子のタンパク質を抽出し、マウス由来抗マウス Coxfa413 モノクローナル抗体を用い、ウエスタンブロッティング法で当該抗体のヒトへの反応性を確認し、Coxfa413 の発現解析を行います。得られた結果と研究対象者の臨床情報、精液所見との関連を精査します。
研究期間	西暦 2021年 1月 28日 ～ 西暦 2025年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	試料：研究対象者より採取した精液検体 情報：年齢・身長・体重・喫煙歴・男性不妊の原因疾患・使用薬剤・サプリメント・血清 FSH, LH, テストステロン、亜鉛、精液所見（精液量・精子濃度・運動率・直進速度・曲線速度・頭部振幅・Beatcross frequency・高速精子の比率）
外部への 試料・情報の 提供	研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付して匿名化し、個人情報が院外に漏洩しないよう十分に配慮し横浜国立大学へ提供します。 対応表は、当院の研究責任者が保管・管理をします。
研究組織	研究代表：横浜国立大学 大学院工学研究院 機能の創生部門 分子生命学研究室 参加機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター（研究責任者）湯村 寧

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-1962

研究代表者：横浜国立大学 大学院工学研究院 栗原 靖之